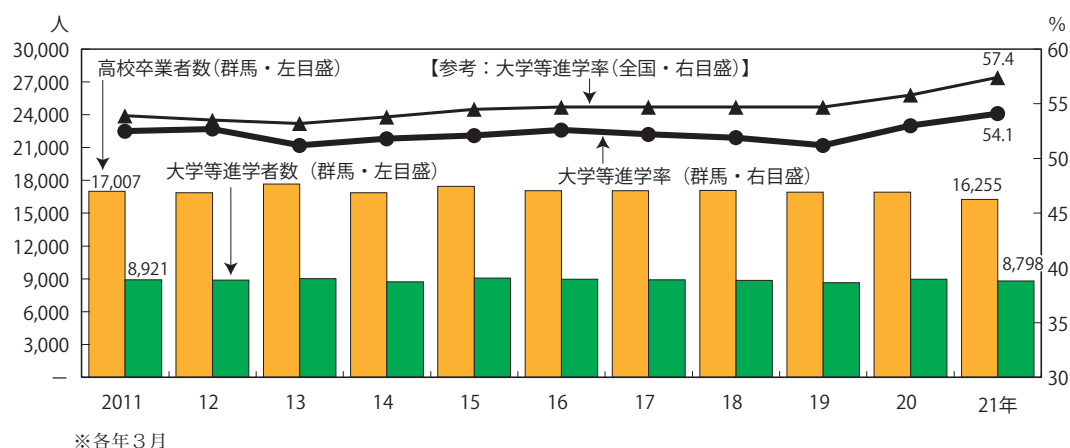


2021年の本県高卒者の県内大学等進学率は35.8%

- 2021年3月の群馬県の高卒者（以下、高卒者と略す）の大学等進学率は54.1%と、過去最高（10年：54.4%）に近づき、全国では57.4%で過去最高となっている（図表1）。
- 本県の大学等進学者の内訳は、「大学」が91.4%、「短期大学」が8.6%となり、10年前と比べると、「大学」（11年：88.4%）が高まっている（図表2）。
- 本県高卒者の進学先所在地を都道府県別にみると、21年度は「群馬県」が35.8%でトップとなり、「東京都」（22.6%）、「埼玉県」（13.8%）が続いた（図表3）。直近10年の上位3県の順位は変わらないものの、本県の割合は緩やかに高まる傾向にあり、21年度は10年前と比べ3.1ポイント上昇した。
- 県内大学での医療関連やデータサイエンス関連の学部・学科開設といった選択肢の増加等に加え、直近では新型コロナ感染拡大もあり、本県高卒者の県内志向は強まった可能性が考えられる。県内の大学等の教育機関には、今後もより一層魅力ある学びの場づくりが期待される。

図表1 大学等進学率の推移（群馬県）



図表2 大学等進学者の内訳（群馬県） 単位：人、%

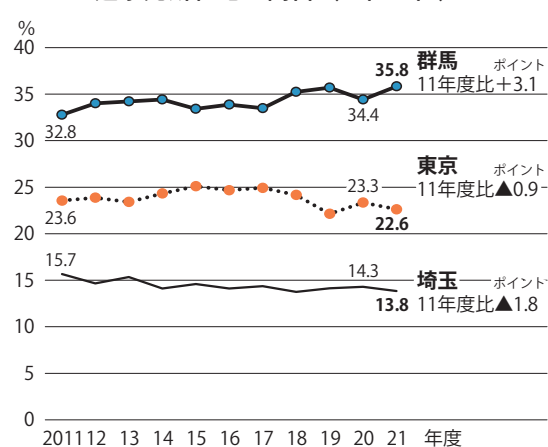
	大学等進学者数	大学	短期大学	その他※
2021年3月	8,798 (100.0)	8,040 (91.4)	754 (8.6)	4 (0.0)
2011年3月	8,921 (100.0)	7,887 (88.4)	1,034 (11.6)	—

※その他は、大学・短期大学の通信教育部および放送大学（全履修生）、大学・短期大学（別科）、高等学校（専攻科）、特別支援学校高等部（専攻科）。

資料出所：文部科学省 「学校基本調査」

学校数や在学者数、教職員数、また、卒業後の進路状況等の学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に、毎年5月1日時点の全数調査が行われている。

図表3 群馬県内の高校卒業者にみる都道府県別の進学先所在地の割合（上位3位）



注：11年度比の値は、四捨五入の関係で、21年度から11年度を差し引いた数値と必ずしも一致しない。

（担当：丸岡美智世）